

令和元年度第9回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録

日 時 令和2年3月25日(水) 15時00分～17時00分
場 所 ホテルセンチュリー静岡4階クリスタルルーム
出席者 塩田、鳥居、野田、晝馬、細井、吉林の各委員
石井、丹沢、木村、東郷、池田、手島、寺村、笹原の各委員
欠席者 泉、大石、栗村の各委員
陪席者 小谷、河合、白井の各副学長、鈴木、村松の各監事

I 前回議事録の承認について

令和元年度第6回、第7回及び第8回国立大学法人静岡大学経営協議会議事録(案)を原案どおり承認した。

また、議長から、前回会議において学外委員からいただいたご意見に対するその後の状況等について報告があった。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、合意書締結後の会議等の開催状況(資料1-1)、1月27日に開催した第15回連携協議会(資料1-2)、2月27日に開催した第16回連携協議会(資料1-3)、1月29日に開催した第1回静岡大学将来構想協議会等の報告があり、意見交換を行った。

<議長の主な説明>

- ・ 静岡大学将来構想協議会について、設置の趣旨、検討事項について紹介があった。1月29日開催の第1回の会議では、教育ジャーナリストの木村誠氏の講演後、本学の改革案の説明を行い、出席委員から意見が述べられた。委員からは、改革案に係るメリット・デメリットの共有を要望されており、第2回の会議では、丹沢理事から未来社会デザイン機構や改革案に係るメリット・デメリットなどについて説明し、意見交換を行う予定である。
- ・ 浜松地区新大学の体制や具体的な改革案を検討していくため、浜松地区の大学運営検討専門委員会の下に「組織・業務運営検討WG」及び「教育・研究にかかるWG」を設置することとした。

2 令和2年度の年度計画の策定について

東郷委員から、令和2年度の年度計画の策定について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

3 国立大学法人静岡大学学則の一部改正について

丹沢委員から、国立大学法人静岡大学学則の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕： 未来社会デザイン機構には様々な活動が期待できる。機構及びサステナビリティセンターについて、静岡キャンパスを中心とした運営方針や指針はみえているのか。

△： 新法人設立・大学再編後、機構は2大学一体的に取り組む組織として法人に置くこととし、センターは実働部隊として医学分野を含め総括的な活動を進めたい。ターゲットは静岡県全体であり、県全域を対象に展開していきたい。

⊕： 地域連携や地域経済への貢献を考えると重要な拠点であり、事業になってくる。拠点としての役割りをさらに検討いただきたい。

△： 地域産業の発展には企業は欠かせない。機構が産業界との関わりを重視し、総括的に取り組み、さらにNPO法人との連携、その後の自立した運営ができるまで支援し、成功モデルを作りたい。

⊕： 静岡地区大学が農学部を中心として発展していく中で、産業界との連携は極めて重要である。キーファクターとなるよう、議論を進めるべきである。

4 静岡大学大学院規則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学大学院規則の一部改正について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 附属学校園長常勤化に伴う諸規則の整備について

手島委員から、附属学校園長常勤化に伴う諸規則の整備について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 住居手当の経過措置に関する諸規則の整備について

手島委員から、住居手当の経過措置に関する諸規則の整備について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 国立大学法人静岡大学非常勤雇用教職員休暇等規程の一部改正について

手島委員から、国立大学法人静岡大学非常勤雇用教職員休暇等規程の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

8 令和2年度予算編成について

手島委員から、令和2年度予算編成について、資料8により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

(学外委員から出された主な意見)

[⊕：学外委員の意見等 △：本学側の意見・説明等]

⊕： IT関連への投資をどう考えているのか。

△： 情報基盤整備経費（学内情報基盤、各種システム等のリース契約料）で3億円配分予定であるが、IT関連に大幅な経費をかけるのは厳し

い。

④： 国の指針はあるのか。

△： 国から明確な指針は出されていない。過去の予算措置の例としては、学内LANに焦点をあてた補正予算やセキュリティー対策への対応ということがあった。

④： 遅れている感覚があり、大学独自で進めていかなければならないのではないか。

△： 情報基盤センターでは オンライン教材の構築を進めており、いくつかの授業は4月に対応できる状況にある。

④： 是非取り組んでいただきたい。

9 平成30年度剰余金の使途について

手島委員から、平成30年度剰余金の使途について、資料9により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

10 静岡大学役員（非常勤理事）の報酬について

議長から、静岡大学役員（非常勤理事）の報酬について、資料10により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

III 報告事項

1 顧問の委嘱について

議長から、顧問の委嘱について、資料11により報告があった。

2 新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応について

議長から、新型コロナウイルス感染症に関する大学の対応について、資料12により報告があった。

<議長及び東郷委員の主な説明>

- ・ 新型コロナに関する対策本部を設置し、決定事項等を通信として発信している。
- ・ 学位記授与式（3/19, 3/23）を中止した。
- ・ 入学式（4/4）を中止する。
- ・ 感染の疑いのある学生の登校停止及び教職員の就業禁止の手続等を定めた。
- ・ 4月6日からのガイダンス・健康診断、4月9日からの授業開始に向け、基本方針及び感染予防対策について検討を続けている。
- ・ 情報基盤センターにおいて、現在の設備でどの程度、オンライン（リアルタイム/オンデマンド）授業方式の導入が可能か検討しているところである。

3 平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について

東郷委員から、平成30年度監事業務監査改善要望事項に対する改善措置事項について、資料13により報告があった。

4 長期借入金償還実施状況について

手島委員から、長期借入金償還実施状況について、資料14により報告があった。

IV その他

1 令和2年度国立大学法人静岡大学経営協議会の開催日程について

議長から、令和2年度国立大学法人静岡大学経営協議会の開催日程について、資料15により日程の案内及び出席依頼があった。

2 令和2年度国立大学法人静岡大学経営協議会の委員について

議長から、令和2年度国立大学法人静岡大学経営協議会の委員について、資料16により紹介があった。

3 静岡大学関連記事

議長から、静岡大学に関連する新聞記事について、参考資料により紹介があった。

4 静岡大学超領域研究推進本部ニュースレター

木村委員から、静岡大学超領域研究推進本部ニュースレターVol.13の紹介があった。

以上